



2016年1月23日(土)

14:30 開場 15:00 開演

愛知県芸術劇場小ホール

(愛知県名古屋市東区東桜1-1 3-2 愛知芸術文化センター)

演奏 ● 東京現音計画

エレクトロニクス: 有馬純寿

サクソフォン: 大石将紀

打楽器: 神田佳子

ピアノ: 黒田亜樹

チューバ: 橋本晋哉



東京現音計画#06

ベストセレクション1
in 愛知

Tokyo Gen'On Project#06 Best Selection 1
in Aichi



プログラム ●

杉山洋一 《五重奏 (アフリカからの最後のインタビュー)》

サクソフォン、チューバ、ピアノ、打楽器、エレクトロニクスのための (2013年委嘱)

足立智美 《かゆいのはそこじゃない》

ピアノ、ヴィブラフォンとビデオ (2014年委嘱)

池田拓実 《ptshrd》

サクソフォン、チューバ、ピアノ、打楽器、エレクトロニクスのための (2014年委嘱)

稲森安太己 《息の合う二人》

バリトンサクソとチューバのための (2015年委嘱)

細川俊夫 《ヴァーティカル・タイム・スタディII》

テナーサクソフォン、ピアノ、打楽器のための (1993-94年)

アーサー・カンペラ 《裸の特異点》

チューバソロ (2004年)

ネーレ・ヒュルツカー 《ネオランプス》

5~10人の奏者とテープのための (2013年)

※曲目、演奏者は変更になる場合があります。

★参加者募集★

お客様で、杉山洋一《五重奏 (アフリカからの最後のインタビュー)》にて、演奏に参加して下さる方を募集しています。楽器や、楽譜の知識は必要ありません。開場 30 分前 (14:00) に会場に来て、簡単なリハーサルに参加できる方、ご連絡ください。連絡先: nayac@mc.point.ne.jp (福永)

東京現音計画#06 ベストセレクション1 in 愛知

これまでの委嘱作や日本初演を果たしたレパートリー等から
絶妙のセレクションで贈るベスト・オブ・現音計画、第一弾。
王道から小粋な路地、イバラ道まで、つぶさに探索してきた道程を再検証。
関東圏以外では初の公演、乞うご期待。

January 23, 2016

open 14:30, start 15:00

Aichi Prefectural Arts Theater, Mini Theater

Tokyo Gen'On Project are:

Arima Sumihisa electronics

Oishi Masanori saxophone

Kanda Yoshiko percussion

Kuroda Aki piano

Hashimoto Shinya tuba

program

Sugiyama Yoichi: Quintetto - Last Interview from Africa
for saxophone, tuba, piano, percussion and electronics (2013)*

Adachi Tomomi: It Is Not the Itchy Spot
piano, vibraphone and video (2014)*

Ikeda Takumi: p'tshrd
for saxophone, tuba, piano, percussion and electronics (2014)*

Inamori Yasutaki: Mutual Understanding
for baritone saxophone and tuba (2015)*

*commissioned works

Hosokawa Toshio: Vertical Time Study II
for tenor saxophone, piano and percussion (1993-94)

Arthur Kampela: Naked Singularity
for tuba solo (2004)

Neele Hülcker: neorumps
for 5-10 players and tape (2013)

全席自由 前売2500円、大学生2000円(税込)当日は500円増し。

高校生以下無料(要予約。東京現音計画事務局☎とメールのみで受付)

※大学生以下は学生証等の提示が必要です。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

予約・問い合わせ☎

東京現音計画事務局(ナヤ・コレクティブ内) ☎050-1439-2142

チケットオンライン: <http://www.purple.dti.ne.jp/naya/tickets/>

メール: nayac@mc.point.ne.jp

愛知県芸術劇場: ☎052-971-5609

チケット取扱☎

Confetti (カンフェティ)

☎0120-240-540 (平日 10:00~18:00)

※チケットの支払/受取は、お近くのセブンイレブンで。

カードでの決済も可能です。

※発券手数料はかかりません。

愛知芸術文化センタープレイガイド

☎052-972-0430

(平日 10:00~19:00 / 土日祝 10:00~18:00)

月曜定休、祝日/振替休日の場合は翌日振替)



ロゴマークデザイン●松蔭浩之
舞台監督●鈴木英生(カノン工房)
制作●福永綾子(ナヤ・コレクティブ)

主催●東京現音計画、愛知県芸術劇場
助成●公益財団法人 野村財団

東京現音計画

とうきょうげんおんけいかく:

現代音楽の第一線で活動する演奏家により2012年に結成。日本初演曲を中心としたプログラム、ユニークな編成の委嘱、若手演奏家/作曲家/スタッフへのワークショップなど演奏家サイドから新たな視点を提案していく。2013年『東京現音計画#01』にてサントリー芸術財団第13回佐治敬三賞受賞。



有馬純寿 Arima Sumihisa ●エレクトロニクス

1965年生まれ。エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に、現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開。「サントリー芸術財団サマーフェスティバル」「コンポーザム」など国内外の現代音楽祭に参加し、300を超える作品の音響技術や演奏を手がけ高い評価を得ている。また会田誠、小沢剛らとの「昭和40年会」をはじめ美術家とのコラボレーションも多い。平成24年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)。帝塚山学院大学人間科学部准教授、京都市立芸術大学非常勤講師。



大石将紀 Oishi Masanori ●サクソフォン

東京藝術大学、同大学院修士課程修了後、2001年渡仏しパリ国立高等音楽院に入学。サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業。同大学院課程室内楽科を修了後、2008年に日本に帰国。東京オペラシティ文化財団「B→C」、コンポーザム、サントリー芸術財団サマーフェスティバル、横浜みなとみらいホールJUST COMPOSED、武生国際音楽祭などに出演。またTVCMなどメディア上でも幅広く活躍している。2015年5月初のソロアルバム「NO MAN'S LAND Masanori Oishi plays JacobTV」をリリース。東京藝術大学、洗足学園音楽大学、東邦音楽大学非常勤講師。



神田佳子 Kanda Yoshiko ●打楽器

東京芸術大学卒業及び同大学院修了。ダルムシュタット国際現代音楽夏期講習会で奨学生賞を2度受賞。国内主要オーケストラとの共演や、国内外の音楽祭への参加、ソロやアンサンブル活動に加え、一柳慧、松平頼暁、高橋悠治、近藤譲等をはじめとする多くの作曲家の作品を初演し、若手作曲家との共同作業も多い。正倉院復元楽器の演奏、古楽器との共演、ジャズピアノとのデュオ「TANAKANDA」など、時代やジャンルを超えた打楽器演奏の可能性にアプローチしている。また作曲家としても国内外で作品が演奏されている。PRECUSSION TRIO [The Birds]、Ensemble contemporary α等のメンバー。



黒田亜樹 Kuroda Aki ●ピアノ

東京芸術大学卒業後、伊ベスカール音楽院高等課程を最高位修了。フランス音楽コンクール第1位。ジローナ20世紀音楽コンクール現代作品特別賞。現代音楽演奏コンクール優勝、朝日現代音楽賞。ビクター「タンゴ2000」「タルカス&展覧会の絵」、イタリアLIMENレーベル「ブルクミュラーエチュード全曲集」DVDなど録音多数。サルデーニャのSpazioMusica現代音楽祭、シチリアのエトネ音楽祭出演などイタリアを中心に活動。作曲家の指名により録音した「Piano Collections FINAL FANTASY」等によっても、世界中のファンに親しまれている。2014年「20世紀ピアノ編曲集」をイオドラデレーベルよりリリース。



橋本晋哉 Hashimoto Shinya ●チューバ

チューバ、セルバン奏者。パリ高等音楽院第3課程卒。フェスティバル・アゴラ、レゾナンス2003、秋吉台現代音楽セミナー、サントリー音楽財団サマーフェスティバル、コンポーザム、東京オペラシティ「B→C」、NHK-FM「名曲リサイタル」などにソリストとして出演。洗足学園音楽大学講師。「低音デュオ」「東京現音計画」のユニットで活動。

HP ● <http://tokyogenonproject.net/>
FB ● <https://www.facebook.com/tokyocmp>

写真●松蔭浩之、藤本健太郎(※)